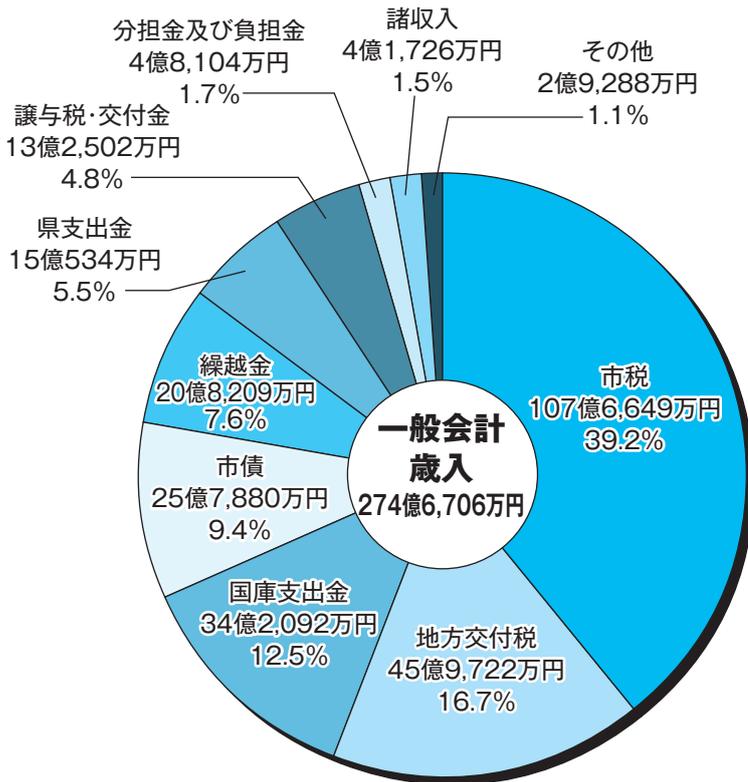


# 決算概要

★財政課 ☎1163



## 市民一人当たりの市税の負担 合計 134,415円

※平成25年4月1日現在の総人口80,099人で計算

### 市税の内訳

市民税	46億3,220万円
固定資産税	47億9,299万円
都市計画税	6億1,159万円
市たばこ税	5億7,409万円
軽自動車税	1億5,562万円

歳入は、前年度と比較して、個人住民税の伸びなどによる市税の増や、地方交付税などが増となったものの、地方特例交付金、国庫支出金、県支出金、財産収入などの減により、総額は14億2,387万円減（▲4.9%）の274億6,706万円となりました。

歳出は、「エコタウン計画」関連事業や学校施設の耐震化事業、子ども医療費支給事業などが増となったものの、施設整備等基金積立事業や土地開発公社からの用地買戻し費用などの減により、総額は前年度と比較し14億7,228万円減（▲5.5%）の253億3,656万円となりました。

また、歳入歳出差引額は21億3,050万円となりました。

### ●特別会計歳入歳出決算額

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理される会計です。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険	93億1,219万円	92億7,785万円	3,434万円
公共下水道事業	19億1,018万円	19億 694万円	324万円
住宅資金貸付事業	687万円	687万円	0
児玉南土地区画整理事業	2億3,944万円	2億1,244万円	2,700万円
農業集落排水事業	1億4,052万円	1億4,005万円	47万円
介護保険	49億8,114万円	48億7,313万円	1億 801万円
後期高齢者医療	6億4,387万円	6億4,299万円	88万円

### ●水道事業会計

水道事業は、企業会計となっています。

区分	収入決算額	支出決算額	収入支出差引額
収益的収支	14億6,455万円	13億5,020万円	1億1,435万円
資本的収支	4,777万円	7億 806万円	△ 6億6,029万円

※収入決算額及び支出決算額に仮受消費税及び仮払消費税を含みます。

※資本的収支における収入支出差引額の不足額は、内部留保資金で補てんしました。

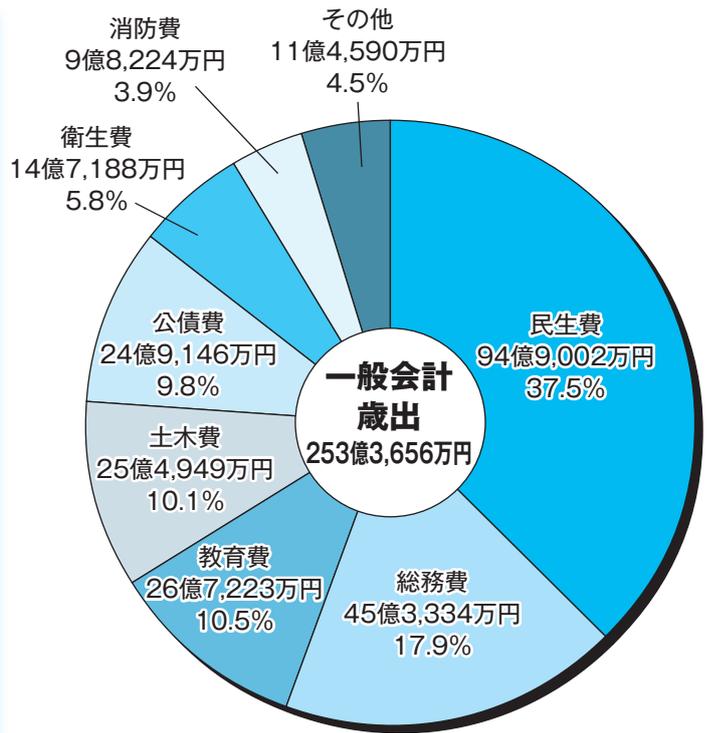


# 平成24年度

## 市民一人当たりにお金 合計 316,316円

項目	内容	金額
民生費	高齢者や児童、障害者等の福祉の推進など	118,478円
総務費	住民窓口、課税徴収、交通安全など	56,597円
教育費	学校教育の充実、文化・スポーツの推進など	33,362円
土木費	道路や公園などの公共施設の整備など	31,829円
公債費	市が借りたお金の返済金	31,105円
衛生費	健康増進やごみ処理費など	18,376円
消防費	消防や防災対策など	12,263円
その他	議会費、農業の振興、商工業の振興など	14,306円

※平成25年4月1日現在の総人口80,099人で計算



### ●市有財産の状況（平成24年度末）

公有財産	土地	1,804,462㎡
	建物	221,077㎡
	有価証券（テレビ埼玉株券ほか）	1,650万円
	出資による権利	12億2,160万円
基金		58億6,770万円
	うち財政調整基金	29億7,851万円
債権	入学準備金貸付金等	2,295万円

### 市民一人あたりの基金の状況 73,256円

### ●市債残高の状況（平成24年度末）

一般会計	215億4,555万円	
(内訳)	土木債	44億7,116万円
	教育債	26億1,842万円
	総務債	6億3,368万円
	民生債	3億9,548万円
	公営住宅債	1億9,401万円
	農林水産業債	9,365万円
	その他 臨時財政対策債※など	131億3,915万円
住宅資金貸付事業特別会計	1,307万円	
児玉南土地区画整理事業特別会計	6億9,994万円	
公共下水道事業特別会計	80億6,636万円	
農業集落排水事業特別会計	6億4,780万円	
水道事業会計	41億4,996万円	
合計	351億2,268万円	

※臨時財政対策債とは、国の地方交付税として交付すべき財源が不足した場合に、普通交付税の代替措置として地方がその財源不足を補てんするため特例的に認められた地方債です。

### 市民一人あたりの市債の状況 438,491円



エコタウンの実現のための事業を推進しています。



子ども医療費助成対象年齢を拡大しました。